

# 令和3年度 事業実施報告書について

(令和3年4月1日～令和4年3月31日まで)

令和3年度、当協会は公益法人移行後9年目の運営になった。

新型コロナウイルス感染症も3年続き、スポーツ活動の「自粛」を余儀なくされ、多くの大会や教室等が中止又は延期となり、事業活動において厳しい状況の1年であった。

このような状況下であったが、岡谷市の市民スポーツの統括団体としてスポーツの果たす社会的役割の重要性を認識し、市民の健康の増進・体力の向上を図り健康で豊かな人間性を涵養すること及び加盟団体の普及・強化にも寄与することを目的とした事業を推進した。

実施にあたっては、加盟団体、関係機関と連携しながら以下の諸事業を実施した。

## 1 法人関係

- 令和3年度事業報告書・決算書等を作成し理事会・評議員会の承認後行政庁に提出した。
- 令和4年度事業計画書・予算書等を作成し理事会・評議員会の承認後行政庁に提出した。
- 毎月の巡回監査と指導及び税務申告業務を継続して小口税務会計事務所に委託した。

## 2 岡谷市からの受託事業について

- 岡谷市・岡谷市教育委員会が主催するスポーツ事業（大会・教室・イベント等）を引き続き受託し加盟団体等の協力を得て実施したが、コロナ禍の影響を受け半数近くが中止となった。
  - ・ スポーツ大会(15/59実施)・スポーツ教室(15/18実施)
  - ・ ファミリースポーツプログラム(3/4実施)
- 岡谷市のしゅん工(完了)検査結果は、全て「良好」判定を頂いた。(検査結果は資料による。)

## 3 スポーツ協会の事業の充実について

- 加盟団体と連携しながら、4つの専門委員会活動を積極的に推進した。事業の実施にあたっては市スポーツ振興事業補助金及び県スポーツ協会振興事業補助金等を活用し、加盟団体主催の各種スポーツ大会・教室等に対し支援と助成を行った。

## 4 自主財源の確保について

- 昨年に引き続き、スポーツに理解を持つ事業所・個人等に対し賛助会員の加入促進を図った。景気の低迷等で会員の拡大は難しい状況が続いているが法人会員及び個人会員のご支援もあり予算を達成できた。  
今後も、公益財団法人として寄附者は税法上の優遇措置が受けられる利点を生かし、更なる促進活動を進める。
- 一方、自販機設置による手数料収入は、コロナ禍の影響でスポーツ施設の閉鎖や大会・教室等の事業減が影響し、未達となった。

## 5 スポーツ協会事業活動の推進について

4つの専門委員会を中心に活動を推進した。

(1)総務委員会

- 「岡谷市スポーツ協会」ホームページをリニューアルした。スポーツ協会の情報をリアルタイムにホームページに掲載できるようになり、情報提供の円滑化を図った。
- 法人・個人に対し賛助会員の拡大を図るため広報（スポーツおかや等）への掲載や加盟団体に協力をお願いし、加入促進を図った。予算額比35千円増となった。現状の厳しい経済情勢下で難しさはあるが、財政基盤の確立が急務であることを考えれば今後更なる対応が必要である。
- 賛助会員の状況(令和3年3月31日現在)

年度	法人	個人	金額
3年度(2021)	79社(87口)	85人(117口)	2,325,000円

(2)事業委員会

○受託事業

- ・コロナ禍の影響で自粛(中止又は延期)する大会、教室が多かったが、主管する協会とは個別に打合せを行い推進を図った。
- ・各区対抗体育大会：全11大会を中止した。
- ・夏季スポーツ祭：全7大会を中止した。
- ・各区対抗体育大会・夏季スポーツ祭以外では15大会実施、26大会を中止した。

○運動施設の保全、運営に対する要望調査

- ・昨年度に引き続き、加盟団体の要望・意見等を集約し、利用者の安全確保を図ることを最優先に取り組んだ。
- ・市の予算編成作業に間に合うようスポーツ施設等に係る要望書を市(市長)に提出した。

○補助金の適正化

- ・加盟団体への活動助成は、算定基準の明確化と、実施後は報告書を精査し限られた財源の効率的な活用を図った。
- ・加盟団体代表者会議はコロナウイルス感染症拡大防止のため、「中止」を決定した。会議資料は全加盟団体に送付し、理解と周知徹底を図った。
- ・事業実施報告書等提出書類は全般的に良好であり改善されている。

(3)広報委員会

当協会及び加盟団体の活動情報を「スポーツおかや」・「ホームページ」を通し市民への情報提供に努めた。

- 「スポーツおかや」による情報提供(27・28号発行)
- ホームページによる情報提供(公益財団法人岡谷市スポーツ協会HP)

(4)スポーツ少年団推進委員会

青少年のスポーツ活動を支援するため、スポーツ少年団の育成支援、登録促進に努めた。登録団数10団体、団員数・指導者数含め263名が登録した。

- スポーツ少年団登録状況

年度	登録団数	団員数	指導者数
令和3年度	10団体(6種目)	198人	65人

## 6 市民スポーツ普及事業について

市民が競技スポーツや生涯スポーツを通じて、スポーツの振興と体力の向上を図るため、スポーツ大会・スポーツ教室・スポーツイベント等の開催・支援を行った。

○ 開催事業(岡谷市からの委託等:運営委託費)

- ① 市民スポーツ大会の開催
- ② 市民スポーツ教室の開催
- ③ ファミリースポーツプログラムの開催
- ④ スポーツ少年団スポーツ大会

○ 支援事業(加盟団体が主催:補助金)

- ① 市民スポーツ大会
- ② 市民スポーツ教室

## 7 競技力向上事業について

市外の参加選手を含め開催するスポーツ大会に対し支援を行い、競技団体の組織強化と活動の充実を目指し、上位の大会進出を目指す選手層の拡大と競技力水準の向上を図った。

○ 新事業として長野国体(2028)にむけて、岡谷市からの県代表選手の育成・支援するため全競技団体に募集を行い、2年目を迎える今年度は、卓球連盟、バレーボール協会、テニス協会、ゴルフ協会の4団体に対し支援(補助金を交付)を行った。

## 8 全国大会出場選手の激励について

令和3年度は、コロナ禍の影響で全国規模のスポーツ大会は、開催されても参加する選手が感染を避けるため出場辞退する等で交付対象者は少なかった。

《全国大会出場8大会》

- 2022 全国選抜ジュニアテニス選手権大会
- 全農杯 2021年全日本卓球選手権大会
- 2021 全国小学生テニス選手権大会
- 2021 全日本卓球選手権大会(マスターズの部)
- 第55回 全日本社会人卓球選手権大会
- 第5回 全日本小学生東西対抗ソフトテニス大会
- 2021年度 全日本卓球選手権大会
- 第21回 全国小学生ソフトテニス大会(ダブルスの部)

## 9 国体選手の激励と壮行会の開催について

第76回国民体育大会(三重県)は新型コロナウイルス感染拡大を受け中止となった。

## 10 スポーツ少年団育成事業について

スポーツを通じて健康で明るい青少年の健全な育成を図るため、スポーツ少年団を育成するとともに団相互の親睦を図った。

#### 11 岡谷太鼓祭りの流し踊りの参加

岡谷太鼓祭りがコロナ禍のため中止となった。

#### 12 指導者の育成事業について

コロナ禍のため中止した。

#### 13 スポーツ体験発表会

コロナ禍のため中止した。

#### 14 広報活動事業について

当協会のスポーツ活動の取り組み状況等の情報を提供することにより、市民のスポーツへの理解と関心を高め、市民のスポーツへ参加を促すため「スポーツおかや」を発刊、また当協会のホームページをリニューアルして内容の充実を図り、スポーツに関する広報活動に努めた。

#### 15 スポーツ振興功績者の表彰について

当協会表彰規程に基づき、理事会で決定し、栄光表彰(個人の部)2名、有効表彰(個人の部)6名を表彰した。

##### ○栄光表彰(個人の部)2名

- ・坂本直子(岡谷卓球連盟)
- ・北原伊織(岡谷スケート協会)

##### ○有効表彰(個人の部)6名

- ・山下弘子(岡谷市バレーボール協会)
- ・百瀬隆(岡谷市ソフトテニス協会)
- ・依田和衛(岡谷市テニス協会)
- ・小口幸利(岡谷市ゴルフ協会)
- ・中山浩子、牛山信子(岡谷フォークダンスの会)